



もちのき



戸田市立戸田南小学校 戸田市本町4-8-2 TEL442-6384

努力やプロセスを認め、称賛すること

教頭 永谷 拓紀

土曜日に実施した校内音楽会には多くの方に鑑賞いただき、誠にありがとうございました。この日を迎えるにあたり、子供達は一生懸命練習を重ねてきました。素敵な歌声や一生懸命何度も楽器で練習する音が校内中に響き渡っていました。当日は、その成果を発揮し、子供達の素晴らしい歌声や演奏を体育館いっぱいに広げることができたと思っております。音楽会開催に当たって、多くの学校応援団、PTAの皆さんにご協力いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。



さて、本校では今年度より3年計画で「社会で生き抜く非認知能力の育成」をテーマに研究を進めております。「非認知能力」とは、数字では表しづらい、自己肯定感・意欲・自制心・協調性・やり抜く力などのことです。非認知能力を育成することで、子供達が生涯にわたって学び続ける力を身に付けられると考えております。

この「非認知能力」を向上させるためのご家庭での働きかけの代表的なものが「子供のよいところを褒めるなどして自信を持たせるようにする。」「子供に努力することの大切さを伝える。」

「子供に最後までやり抜くことの大切さを伝える。」などです。「非認知能力」を高めるためには、やはり子供達を認め、励まし、褒めることが大切であるといえます。



しかし、子供を伸ばすための褒め方にはコツがあるようです。

1998年、スタンフォード大学心理学教授のキャロル・ドゥエックは小学5年生400人に単純な問題を解かせた後、1つのグループには「頭がいいね。」と能力を褒め、もう1つのグループには「頑張ったね。」と努力を褒めた。

ドゥエックは、わずかに違うところを強調した単純な言葉が、子供のマインドセット（気がまえ）に違いをもたらすかを試した。その結果はめざましかった。

その後、難易度の高い問題か低い問題を受ける選択肢が与えられた。能力を褒められた子供達はリスクを避けるために、難易度の高い問題を選ばない傾向が生まれ、反対に努力を褒められた子供達は成功ではなく挑戦の可能性追求に関心を持ち、90%が難易度の高い問題を選んだ。

次に、誰も解けないような非常に難しい問題を与えたところ、能力を褒められた子供たちは「自分は問題を解くことが得意でない。」ととらえ、努力を褒められた子供達は挑戦することを楽しみ、少しも自信を失わなかった。

(キャロル S. ドゥエック「やればできる!」の研究)

努力やプロセスを褒めることによって、チャレンジ精神が芽生え、意欲的に挑戦するようになるのです。

今回の音楽会に限らず、結果や成果の優劣だけでなく、そこに至るまでの努力やプロセスを認め、称賛してあげてください。

地域・家庭と学校が足並みをそろえて、南っ子の育成に取り組んでいきましょう。

午後には、家庭、地域、学校と立場の違うものどうしで、同じ目線で南っ子の未来について語り合う「オンライントークイベント」を実施しました。今回テーマに掲げた「デジタルシティズンシップ教育」（子供達がインターネットのリスクや落とし穴から身を守るだけでなく、有能なシティズンとして、社会のためにデジタル技術を積極活用する方法を理解させ、子供達の能力習得を支援する重要な役割をもつ教育）は学校だけではどうにもならない問題です。二人三脚での取り組みをお願いします。



11月は「戸田市いじめ撲滅強調月間」です。県としてもいじめ撲滅強調月間として取り組んでおります。戸田南小学校では「アイスココア」（アありがとう イいいよ スすごいね コごめんね クこんにちは アありがとう）を合い言葉に常時あたたかい人間関係づくりを意識しています。

引き続きよろしく申し上げます。

日	曜	1 1 月 行 事 予 定
1	水	金管放課後練習 グリット3, 6年
2	木	朝読書 とだっ子3年 グリット1,5年
3	金	文化の日 こども会綱引き大会
4	土	
5	日	
6	月	とだっ子5, 6年 グリット2,4年
7	火	戸田市小中音楽会 (4年弁当) グリット3, 6年
8	水	グリット1,5年
9	木	おはなし(1~3) とだっ子3年 校内研究全学年5時間授業 グリット2,4年
10	金	(2, 3年弁当) グリット3, 6年 明治戸田工場オンライン授業3年
11	土	
12	日	
13	月	放課後子ども教室 とだっ子5, 6年 グリット1,5年
14	火	県民の日
15	水	3DAYS① (1, 2, 6年弁当) とだっ子4年 金管放課後練習 グリット2,4年
16	木	おはなし(4~6) 町探検2年 とだっ子3年 3DAYS② なかよしタイム グリット3, 6年
17	金	2年生町探検予備日 3DAYS③ グリット1,5年
18	土	
19	日	
20	月	とだっ子5, 6年 6年薬物乱用防止教室
21	火	クラブ活動
22	水	とだっ子4年
23	木	勤労感謝の日
24	金	5年弁当 5年非行防止教室 ふれあいデー 安全点検日
25	土	戸田市数学コンテスト (文化会館)
26	日	戸子連スポーツ大会
27	月	とだっ子5, 6年
28	火	とだっ子4年 委員会活動⑧
29	水	
30	木	おはなし(にじ) なかよしタイム とだっ子3年

- 12月 6日(水) 校内研究全学年5時間授業
 20日(水) 給食終了 ※時間走大会は行いません。体育授業の中で実施します。
 22日(金) 3時間 師走の会

☆時間走キャンペーンに伴う健康観察の実施について
 10月31日(火)から時間走キャンペーンが始まります。詳細については、別のお便りをご覧ください。昨年度同様、LEBERに必要事項を入力していただきます。入力を忘れた場合は活動に参加することができません。学校からの確認はいたしかねますのでご了承ください。なお、LEBERの入力については**7時40分までには体温、出欠等の入力**をお願いします。遅い時間の入力は学校の諸活動に支障をきたすため、ご協力をお願いします。

~11月は「いじめ撲滅強調月間」です~



いじめられた子供には心身に深刻な被害が生じることがあります。いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。埼玉県では、11月を「いじめ撲滅強調月間」に制定し、いじめ問題の根絶に取り組んでいます。いじめを受けていたり、いじめに気が付いたりしたら一人で悩まず相談・通報してください。(別紙「相談窓口」)

~戸田市立戸田南小学校「児童の携行品に係る配慮」に関する校内規程~

【日常的な教材や学習用具について】

- 宿題で使用する教材等を明示し、家庭学習で使用する予定のない教材等について、置いて帰ることを認める。
- 同一日に多くの学習用具を用いる場合には、あらかじめ数日に分けて持ってくるように指導する。
- 児童に教材を使用する見通しを明らかにして、携行品の分量が特定の日に偏らないようにする。
- 書写・図画工作の授業では、汚れた筆やパレットは持ち帰らせるがその他の用具は学校におくことを認める。

【学期はじめ、学期末等における教材や学習用具等について】

- 学期末に持ち帰る学習用具(水彩道具、習字道具、鍵盤ハーモニカ、裁縫道具)についての持ち帰り計画を立てる。またその際には、できるだけ給食着や体育着、上履きなどを持ち帰る金曜日に重ならないように配慮する。



【その他について】

- 日頃から学校においていくことを認めるものや学期末に持ち帰るものについて、学年だよりで保護者に連絡し、周知する。
 ※感染症の流行によっては本規程と異なるときもあります。

相談窓口等

<p>○よい子の電話教育相談（埼玉県立総合教育センター） 【相談内容 いじめ、不登校、学校生活】 18歳以下の子供用（無料）#7300 <small>なやみゼロゼロ</small> 又は 0120-86-3192 <small>ハロー さいのくに</small> 保護者用 <small>こころ おはなし</small> 048-556-0874 （毎日24時間） Eメール相談 soudan@spec.ed.jp ※Eメール相談の受信確認及び返信は、平日9時から17時の時間帯に行っています。</p>
<p>○いじめ通報窓口（埼玉県教育委員会） 【通報内容 いじめに関すること】 https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/ijime-soudan-form.html ※この窓口は「いじめ」についての情報提供を受けることが目的であり、相談に対する返信は行いません。 ※通報された情報は学校に提供します。学校はあなたが送信したことがわからないように調査・対応します。</p> 
<p>○埼玉県警察少年サポートセンター 【相談内容 非行やいじめ、犯罪被害等の少年問題に関する心理面の相談】 （月～金／祝日・年末年始を除く 8時30分～17時15分） 048-861-1152 「少年用・ヤングテレホンコーナー」 048-865-4152 「保護者等用」 ※面接相談は要予約</p>
<p>○子どもスマイルネット 【相談内容 いじめなど子供に関するあらゆる相談（本人・保護者等からの相談）】 （毎日／祝日・年末年始を除く 10時30分～18時00分） 048-822-7007</p>
<p>○社会福祉法人 埼玉いのちの電話 【相談内容 どんなことでも】 048-645-4343（365日24時間） 0120-783-556 フリーダイヤル（毎月10日8時～翌日8時）と （土・日・祝日・年末年始を除く毎日16時～21時） 0570-783-556 ナビダイヤル（毎日10時～22時） インターネット相談 埼玉いのちの電話ホームページからアクセス</p> 
<p>○特定非営利活動法人 さいたまチャイルドライン 【相談内容 どんなことでも】 （毎日16時～21時） 18歳以下の子供専用（無料） 電話 0120-99-7777 オンラインチャット https://childline.or.jp/（水～土 16時～21時）</p>
<p>○埼玉県こころの電話（埼玉県立精神保健福祉センター） 【相談内容 心の健康の相談】 （平日／土・日・祝日・年末年始を除く 9時～17時） 048-723-1447</p>  <div data-bbox="730 1559 1445 1816" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○埼玉県 SNS 相談 こころのサポート@埼玉 【相談内容 こころに関する相談内容を何でも（LINEで心理カウンセラーへ相談）】 （日曜日21時～翌6時・月曜日21時～翌1時 受付は終了30分前まで） https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/suicide/sns.html</p> </div>
<p>○子どもの人権110番（さいたま地方法務局） 【相談内容 子どもの人権】 （平日／祝日・年末年始を除く 8時30分～17時15分） （無料）0120-007-110 ◇子どもの人権SOS-eメール https://www.jinken.go.jp/kodomo</p>